



ホームカミングデイ 2021

第4回くにたち賞表彰式
受賞者によるトーク&コンサート

2021年10月30日(土) 講堂小ホール

主催 国立音楽大学同調会



第1部 第4回くにたち賞表彰式

開 式
主催者挨拶
表 彰
祝 辞
閉 式

第2部 受賞者によるトーク&コンサート

1 金山 茂人

お話「くにたちの思い出あれこれ」

2 横田 裕一

お話「ゼロから積み上げたこと」

3 清水 チャートリー

お話と作品上演

作品《金魚オブセッション》・・・・・・・・・・・・・・・・清水 チャートリー

演奏：山田 奈直 (Soprano)、小栗 舞花 (Alto)

川上 夏輝 (Tenor)、川島 素晴 (Bass)

4 小林 啓倫

歌劇《道化師》より“ごめんください、皆さまがた”・・・・・・・・R.レオンカヴァッロ

歌曲集《子供の不思議な角笛》より“死んだ鼓手”・・・・・・・・G.マーラー

Pf. 齋藤 亜都沙

受賞者プロフィール

〈大賞〉

金山 茂人 (かなやま・しげと／日本演奏連盟常任理事、日本オーケストラ連盟副理事長)

昭和 15 (1940) 年、富山県立山村 (旧) に 6 人兄弟の末っ子として生まれる。

翌 16 年 12 月 8 日、日本はハワイの真珠湾に奇襲攻撃をかけ太平洋戦争が勃発、敗戦を迎えた昭和 20 年 8 月 15 日、5 歳だった。父親はクラシック音楽が好きでヴァイオリンを趣味ながら若いころ早稲田専門学校 (当時) からやっていた私が 10 歳の時、情操教育の一環と思ったのか嫌がる私に自らが先生となりヴァイオリンを特訓した。その後時代も変わり、いろいろなことがあったが最終的には昭和 31 年、15 歳で音楽の専門教育を受けるべく上京した。国立音楽大学附属高校を受験し、そのまま同大学に進み卒業。幸いにも東京交響楽団にヴァイオリン奏者として入団した。それ以降 13 年間、同楽団でヴァイオリンを弾いていたが民間オーケストラの悲哀から楽団運営が行き詰まり、やむなく楽団臨時総会が開かれ、3 代目の楽団代表に推挙されたのが 36 歳だった。それから 30 年、何とか楽団の立て直しに目途が立ったところで楽団長を退き最高顧問の傍ら公益社団法人 日本演奏連盟専務理事、プロオーケストラである北は札幌交響楽団から南は九州交響楽団に至る 38 楽団が加盟している同じく公益社団法人 日本オーケストラ連盟副理事長、その他 10 数団体の役員に就任し日本の音楽界全体が発展することに奮戦している。

〈大賞〉

横田 裕一 (よこだ・ひろかず／プラス・アンサンブル・ソフィアーレ代表、元中学校教諭)

1961 年生まれ、沖縄県うるま市出身。あげな小学校、あげな中学校、前原高校卒業。勤めた普天間中学校、山内中学校、美里中学校を率いて九州吹奏楽コンクールに 12 回出場、その内 4 回は全日本吹奏楽コンクールに出場。このほか、アンサンブルコンテスト全国大会、九州合唱コンクール、沖縄県の音楽の祭典「全琉音楽祭」に吹奏楽や合唱で 15 年連続出演。美里中学校吹奏楽部は第 44 回日本吹奏楽指導者クリニックのモデルバンドとして、沖縄県から初めて選出され招待演奏を行った。1991 年、国立音楽大学卒業生のメンバーでプラス・アンサンブル・ソフィアーレを結成、代表を務めている。20 年以上にわたる演奏活動を認められ、沖縄タイムス芸術選賞 奨励賞を受賞。

現在も県内小学校から高校まで 12 校以上を指導している。指導に関わった学校が県内で上位をしめ、高校 1 校、中学校 2 校が県代表で九州大会へ出場している。

〈奨励賞〉

清水 チャートリー (しみず・ちゃーとリー／作曲家)

国立音楽大学コンピュータ音楽専修を首席で卒業と同時に有馬賞を受賞 (2014)。奨学生として米コロンビア大学修士課程を修了。三菱財団フェローとして米ピッツバーグ大学での研究活動を経て、2018 年、独ドレスデンに拠点を移す。受賞歴に 2016 年マルタ国際作曲コンクール 1 位、第 10 回 JFC 作曲コンクール入選、ISCM 《世界音楽の日々》ニュージージーランド大会入選など。2018 年より日本楽器の記譜法や特殊奏法について、米コーネル大学や仏ストラスブル音楽大学などで特別講義を行っている。

〈奨励賞〉

小林 啓倫 (こばやし・ひろみち／バリトン歌手)

国立音楽大学演奏学科声楽専修卒業、同大学院修士課程修了。二期会オペラ研修所マスタークラス修了。修了時に優秀賞と奨励賞を受賞。新国立劇場オペラ研修所修了。新国立劇場オペラ研修所海外研修でミラノ・スカラ座のアカデミア短期研修を修了する。第 52 回日伊コンクール第 2 位。第 89 回日本音楽コンクール第 1 位。

これまでに数多くのオペラやコンサートに出演する他、NHK-FM ラジオ等にも出演。二期会では創立 65 周年記念ベルリン・コミッシェオーパー・日生劇場提携公演『こうもり』にファルケ役でデビュー、好評を博したのに続き活躍を続けている。日伊音楽協会会員。二期会会員。



出演者プロフィール

山田 奈直 (やまだ・ななお/Soprano)

1997年川崎市生まれ。2020年3月に国立音楽大学作曲専修を首席卒業、有馬賞を受賞。作曲を川島素晴氏に師事。大学主催の「聴き伝わるもの、聴き伝えるもの」に5年連続出演、ホリガーやアペルギスなど現代作曲家の、特殊な発声法や実在しない言語を使用した作品などに積極的に取り組んでいる。現在は修士作曲専攻2年生。

小栗 舞花 (おぐり・まいか/Alto)

国立音楽大学作曲専修を首席で卒業。現在同大学修士1年。小さな音や間、暗闇を用いた繊細な作品を制作する一方で、現代音楽を中心に演奏やパフォーマンスにも取り組む。TVドラマ「ガールガンレディ」にシャウトのボイス提供を行う。芸術祭で加藤大成氏のジャズ研版デスコアの演奏に参加し、Twitterで好評を博す。

川上 夏輝 (かわかみ・なつき/Tenor)

1997年東京都生まれ。国立音楽大学コンピュータ音楽専修卒業。並びに日本伝統音楽コース修了。ICMC-NYCEMF2019にて入選。2019年の「聴き伝わるもの、聴き伝えるもの」に出演。学部の頃より、鳥に関する作品創作に取り組む。これまでに作曲、コンピュータ音楽を菜孝之、平山晴花に師事。現在、同大学院修士課程2年に在籍中。

川島 素晴 (かわしま・もとはる/Bass)

作曲家、パフォーマー。国立音楽大学准教授。ダルムシュタット・クラークニヒシュタイン音楽賞、芥川作曲賞、一柳慧コンテンポラリー賞等を受賞。作曲活動に加え様々な演奏活動を行い、作品個展とリサイタルを毎年開催している。様々なTV番組に現代音楽の解説者として出演。日本作曲家協議会副会長。

齋藤 亜都沙 (さいとう・あづさ/ピアノ)

国立音楽大学ピアノ専攻首席卒業。鍵盤楽器ソリストコース修了。同大学院修士課程器楽専攻ピアノコース修了。在学中、武岡賞、岡田九郎記念奨学金を受賞。国外研修奨学生としてザルツブルクに派遣。読売新人演奏会、皇居桃華楽堂御前演奏会ほか多数出演。ピアノを福田ひかり、五十嵐恵子、五十嵐稔、梅本実の各師に師事。大学院より現在に至り、安井耕一氏の元で研鑽を積んでいる。ソロ、室内楽、声楽伴奏を中心に演奏活動を行なっている。

《協力》

音響：片桐 健順 (本学准教授)、国立音楽大学コンピュータ音楽専修学生

同調会「くにたち賞」〔第5回受賞候補者推薦受付中〕

「くにたち賞」は、2017年に本会が創設し、同調会員の中からその活動・実績・功績が顕著である人物（または団体）を会員の推薦に基づき表彰するものです。大賞・奨励賞の2部門があります。毎年9月～11月に推薦を受け付けています。

第5回(2022年度)の受賞候補者推薦受付期間：2021年9月1日(水)から2021年11月30日(火)まで(消印有効)。

詳細は、国立音楽大学同調会 Web サイトをご覧ください。 <https://dochokai.kunitachi.ac.jp/>



*****アンケートご協力のお願ひ*****

Webにてアンケートを実施しております。ホームカミングデイのご感想を是非お寄せください。

QRコードまたは下記アドレスよりアクセスください。

<https://forms.gle/pHDgsMM9eMKiR24N6>

